

# 東京スカイツリー<sup>®</sup> 観光グッズの製品開発 新ブランドの確立

平成24年5月、東京都墨田区押上に東京スカイツリー<sup>®</sup>がオープンしました。都産技研では、開業の約1年前から、中小企業と共同研究にて東京スカイツリー<sup>®</sup>観光マーケットをターゲットとした新ブランドを立ち上げ、オープンに合わせて製品の販売を始めました。

## 新マーケットへのチャレンジ

アパレルを専門に事業を展開していた株式会社ミハイルが、新規事業への参入についてご相談に来られたところから、共同研究が始まりました。インターネットの普及等情報化社会の現代、世界中で同質化が進み、類似した商品が世にあふれる中で、他人とは違うものを欲する消費者の購買ニーズが高まっています。そこで、オープン予定の東京スカイツリー<sup>®</sup>と、企業や墨田支所の所在地となる「すみだ」に着目し、墨田区の建物、人、風景をモチーフとすることで、他社とは全く異なるコンセプトのブランドの確立を目指しました。

## 新ブランドの確立

ブランドの立ち上げに際して、「Picky's Du(以下、ピッキーズ・ドウ)(図1)」というロゴマークを作成し商標登録を行うとともに(商標登録第5358694号)、合わせて、ネットショップを立ち上げました(<http://pickysdu.com>)。名前の由来は「えり好みする」を英語にした「picky」がもとになっています。墨田、東京スカイツリー<sup>®</sup>へ来たファミリー層の観光客に製品を選んでほしいという思いからネーミングされています。高品質でありながらも手の届きやすい価格を設定した子供服や雑貨をメイン商品として開発を進めました。



図1 Pickys Duロゴマーク

事業化支援本部 <墨田支所> 平山 明浩  
【共同研究先】株式会社ミハイル

## 製品展開への支援

ピッキーズ・ドウの代表作となる、「東京スカイツリー<sup>®</sup>公式認定ニットネクタイ」は、フォーマルな場面でも利用できるようなシックなデザインですが、一般的な棒状(四角)に編んだものを折り返すのではなく、編む段階で剣先の形になるように網目を調整し、折り目によるほつれの防止や軽量化を図るための技術的な工夫が盛り込まれています。この、ニットネクタイは東京スカイツリー<sup>®</sup>のソラマチ4F「one off by in Touch」にて販売され(図2)、昨年秋ごろから、さまざまなファッション雑誌や新聞にも取り上げられるようになりました。



図2 ソラマチ

また雑貨では、キーリング「one off by in Touch」にてや、トートバッグ(図3)などの開発・販売も始めました。表側には両国のお相撲さん、裏側には東京スカイツリー<sup>®</sup>が描かれたキーリングは、第一ホテル両国にて販売され、東京観光へいらした方々にお土産として人気があるそうです。

共同研究にて試行錯誤しながら、色・柄・素材・シルエットの総合的なバランスを何度もチェック・修正をしながら、ブランドの差別化・独自の企画力を明確化したことにより、ピッキーズ・ドウの製品が東京スカイツリー<sup>®</sup>が公式の商品として認定され、幅広く製品展開できるようになったことは、都産技研の新ブランドの確立という新しい試み



図3 東京すみだトートバック

の中でも非常に有意義であったと考えます。